



# 1月新着図書案内

上・中旬版

富山中部高校図書館



## 隣人、それから。 38度線の北

初沢 亜利 著

最悪の緊張状態から急速に宥和が漂う朝鮮半島。激変さなかの北朝鮮の日常を写真家は堂々切り取った。報道では見えない日常からあの国を考える一冊。5年前に発表した前作『隣人』も併せて読んでみて欲しい。



## 紛争地の看護婦

白川 優子 著

悲しみ、憎しみ、恐怖。すべて見た。こみあげる怒り。それでも信じたい人間の強さ——。イラク、シリア、パレスチナなど紛争地を中心に、これまで17回の派遣に応じてきた、「国境なき医師団」看護婦が生と死の極限を綴る。



## 幸福の増税論 ——財政はだれのために

井出 英策 著

自己責任社会から、頼りあえる社会へ——。すべての人の命とくらしが保障される温もりある社会を取り戻すため、「増税」の必要性に切り込み、財政改革、社会改革の構想を大胆に提言する。



## TEN-DOKU クイズで読み解く天気図

増田 雅昭 著

厳選された天気図クイズで、「天気力」を鍛える本。日本の特徴的な天気や、災害が起こるような危険な気圧配置、あの出来事のあった日の天気など、30の天気図クイズを収録する。天気図の読み解き方も解説。



## ひとつむぎの手

知念 実希人 著

大学病院で過酷な勤務に耐える平良祐介は、医局の最高権力者・赤石教授に3人の研修医の指導を指示される。さらに、赤石が論文データを捏造したと告発する怪文書が出回り、祐介は「犯人探し」を命じられ……。



## 図書館からのお知らせ

冬休み前に  
貸出した本は  
速やかに返却  
してください。